

地域を支える建設業の将来像イメージ



令和6年6月  
常任委員会

## (3)三重県建設産業活性化プラン2024

### R6 取組内容について

県土整備部  
公共事業運営課  
建設業課  
技術管理課

プラン取組の最新情報はこちら↓

担い手確保支援チームの活動状況↓



X (旧Twitter)  
@mie\_kasseika



Instagram  
@MIE\_KENDO\_NINAITE



# 目次



## 三重県建設産業 活性化プラン 2024

### 1. 三重県建設産業活性化プラン2024

### 2. 令和6年度の取組

《4つの取組方針に基づく取組》

1) 担い手の確保

2) 労働環境の改善

3) 生産性の向上

4) 企業の安定経営に向けた対応

《取組の効果検証》



# 1. 三重県建設産業活性化プラン2024

## 1. 将来ビジョン

時代の変化に対応した経営により、地域の建設企業が将来にわたり存続し続ける

### 計画期間

【 令和6(2024)年度 ~ 令和9(2027)年度 】

## 2. 取組方針

地域の建設業が地域の守り手としてその役割を担い続けることができるよう、適正な利潤の確保に配慮しつつ、この4年間では、次の3つの取組方針を柱として、相互に連携し、相乗効果を生み出しながら、新たな将来ビジョンをめざします。

### 【取組方針1:担い手の確保】

「担い手の確保」では、新卒者やU・Iターン人材の建設業界への入職が定着するよう、①教育機関・建設業界・行政が連携し、②生徒・学生への魅力発信・動機付け等を行うとともに、③U・Iターン人材等への働きかけに取り組みます。

### 【取組方針3:生産性の向上】

「生産性の向上」では、①建設DXの導入を支援し、ICTやBIM/CIM等の②建設DXの活用を促進させるとともに、新技術の活用等、③建設DXの持続的な推進に取り組みます。

### 【取組方針2:労働環境の改善】

「労働環境の改善」では、自分・家族の時間が大切にできるよう、①週休2日制の定着や②施工管理の効率化・分業化による労働時間の削減に取り組みます。また、就業者が業界に定着するよう、③安全で快適な労働環境の実現を目指すとともに、④人材育成や福利厚生が充実するための支援などに取り組みます。

### 【3つの取組方針を支える企業の安定経営に向けた取組方針】

「担い手の確保」、「労働環境の改善」、「生産性の向上」の取組方針にある施策を推進していくため、建設企業の経営状況の確認と適正な利潤の確保などに取り組みます。

### ◆ 各取組の関係性のイメージ





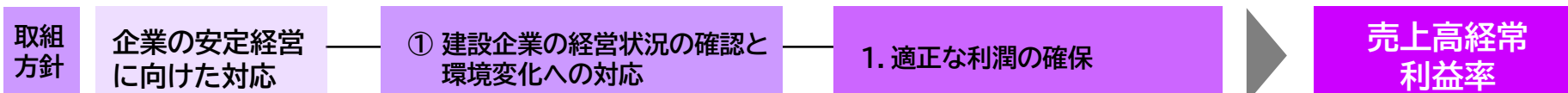
# 1. 三重県建設産業活性化プラン2024

## 3 施策体系

以下の3つの取組方針のもと、10施策、23項目を実施するとともに、これらの取組に不可欠な企業の安定経営に向けた取組を継続的に実施します。



3つの取組方針を支える企業の安定経営に向けた取組方針





# 1. 三重県建設産業活性化プラン2024

## <取組指標>

### 取組指標を設定し、明確な目標を定め各施策を実行

#### 取組方針1 担い手の確保

取組指標	現状値 令和4年度	目標値 令和6年度	目標値 令和7年度	目標値 令和8年度	目標値 令和9年度
高卒就業者数の建設業の割合 (建設業就業者数/高卒就業者数)	5.9% (201人 /3,390人)	6.1%	6.4%	6.7%	7.0% (219人 /3,126人)

#### 取組方針2 労働環境の改善

取組指標	現状値 令和4年度	目標値 令和6年度	目標値 令和7年度	目標値 令和8年度	目標値 令和9年度
年間総実労働時間	1,885時間	1,860時間	1,840時間	1,820時間	1,800時間

#### 取組方針3 生産性の向上

取組指標	現状値 令和4年度	目標値 令和6年度	目標値 令和7年度	目標値 令和8年度	目標値 令和9年度
Aランク建設企業のASP活用率 (ASPを活用/三重県発注工事受注 企業) ※ 土木一式Aランク	4% (8社/181社)	30%	50%	80%	100%

#### 3つの取組方針を支える企業の安定経営に向けた取組方針

取組指標	現状値 令和4年度	目標値 令和6年度	目標値 令和7年度	目標値 令和8年度	目標値 令和9年度
売上高経常利益率	4.8%	5.1%	5.4%	5.7%	6.0%

## 2. 令和6年度取組

## 【取組方針1 担い手の確保】

県、建設業界、教育機関が連携し、建設業の担い手確保に向け、各種取組を推進中！

### 令和5年度 主な取組

- ① 学校訪問 (進路指導教諭等)  
22校 (県立14校、私立6校、高専1校、短大1校)
- ② 出前授業 (進路ガイダンス含む)  
13校 (県立7校、私立5校、短大1校)  
★うち3校は探究の授業
- ③ 現場見学会 (出前授業との同時開催校有)  
14校 (県立13校、高専1校)
- ④ 実習授業  
2校 (県立2校)
- ⑤ 進路教諭と建設企業の交流会  
1地域 (伊賀地域)
- ⑥ 担い手支援チーム発信の取組  
学校クラブとのコラボ動画
- ⑦ 魅力発信  
(SNS インスタグラム開設)  
週1回を目標に更新



① 学校訪問



進路指導教諭との情報交換と、出前授業等、魅力発信機会の開催を依頼

② 出前授業 (探究の時間)



学校周辺エリアの課題をみんなで解決！クイズ形式の参加型授業で大盛況☆多

③ 現場見学会



普段は入れない、建設現場で実際の仕事を体験！

④ 実習授業



専門技術者からレクチャーを受け、自校の校内でアスファルト舗設を体験！

⑤ 進路指導教諭と建設企業の交流会



地域の先生が集まる場で、地域の建設業をPRし関係性を強化

⑥ 担い手支援チーム発信の取組



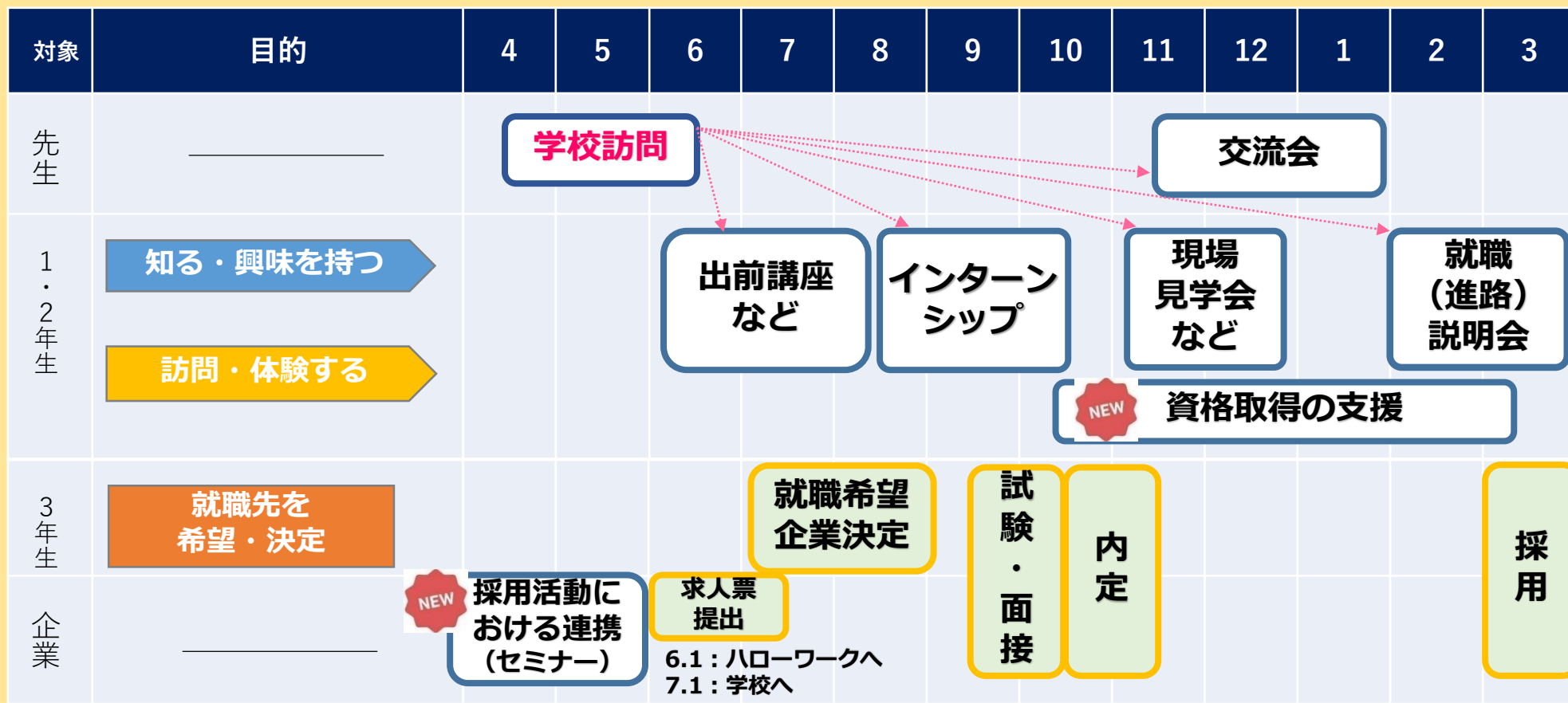
発信力の高いダンスクラブとコラボし、建設業の楽しいイメージを広く発信！

## 2. 令和6年度取組 【取組方針1 担い手の確保】

<取組施策① 教育機関・建設業界・行政の連携 >

<取組施策② 生徒・学生への魅力発信・動機付け>

学校の進路カリキュラムに合わせ、建設業界とともに建設業の魅力を発信！



担い手確保の取組



令和6年度から新たに実施する取組

採用スケジュール




# 2. 令和6年度取組 【取組方針1 担い手の確保】

## <取組施策① 教育機関・建設業界・行政の連携 >

### 生徒が欲しい雇用情報や他業種が行っている効果的な求人活動を 現役の進路指導教諭から直接レクチャー



#### 採用活動における連携




子どもの数は減っています。  
**採用活動の準備、万全ですか？**

令和5年5月4日 総務省が公表した「我が国のこどもの数」によると、我が国のこどもの数（15歳未満人口）は1982年から**42年連続で減少**し、過去最少となっています。

採用活動は、業界同士、企業同士の**競争**となっています。

#### 現役高校教師が 採用活動向上セミナーを行います！



●講師  
三重県立桑名北高校  
井上 和也教諭


●経歴  
平成13年から進路指導に携わり、現在は現役で指導を行う。就職を希望した生徒数は**3,240名**を超える。進路指導やキャリア教育等での講演実績も多数。

●開催内容  
①「三重県建設産業活性化プラン2024」の取組説明  
※三重県より説明を行います

②採用活動向上セミナー  
・高校生の就職動向  
・他業界における求人の動向  
・求人票の書き方 など

③意見交換

ご応募はこちらから




- ・北勢地域で令和6年5月31日に開催
- ・30社 約40人が参加（Web参加含む）

## その悩みお教えします！！

桑名北高校  
進路指導部 代表  
井上先生



セミナーの主なテーマ

- 1 高校生の就職事情
- 2 建設業の魅力化アップのための提言
- 3 高卒求人票について
- 4 自社アピールの方法
- 5 他業種に見られる工夫

### 受講した感想

今回のセミナーを通じて密な情報を得られてよかった。

他業種と比較して、建設業に足りないことがたくさん知れた。

自社の求人の問題点に数多く気づくことができた。

高校へのアピール方法など今までの疑問が解消された。

高校生の視点も分かり、現役の先生の話はすごくためになった。

あと1～2月早く開催されると良かった。

- 【今後の取組】
- 受講者の感想等を踏まえ、他地域においても取組を検討



## 2. 令和6年度取組 【取組方針1 担い手の確保】

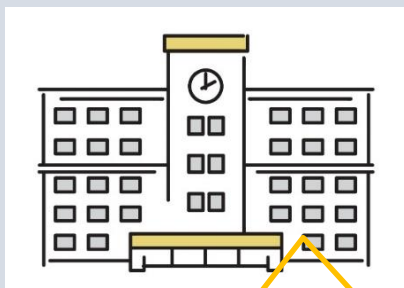
### <取組施策② 生徒・学生への魅力発信・動機付け>

生徒への資格取得の支援により就職意欲を早期に動機付け

NEW

#### 資格の取得支援

対象学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2年生									受検率向上講習 (土木・建築)			
3年生	令和7年度 合格率向上講習 (土木・建築)		試験				試験					



資格重要!

わかりやすい♪

#### 【県の支援】

資格取得に向けて効果的に勉強できる環境の整備  
(講師・開催場所の調整)

#### 【取組ターゲット】

対象：工業系（建設系学科）高校の生徒  
資格：2級土木・建築施工管理技士の取得

#### 【取組時期】

受験率向上講習（土木・建築）：2年生の12月  
合格率向上講習（土木・建築）：3年生の5月

#### 【資格合格者の実績】

令和4年度：92名

# 2. 令和6年度取組 【取組方針1 担い手の確保】

## <担い手確保支援チーム>

若手の視点で建設業の魅力を発信！



担い手確保支援新チーム  
2024



← 事務局

← メンバー

### 出前授業での先生や コーディネーター



出前授業の先生



出前授業のコーディネーター

### SNSへのポスト



### 若手視点の企画



### PRグッズの作成



# 2. 令和6年度取組 【取組方針1 担い手の確保】


## <取組施策③ U・Iターン人材等への働きかけ > 他部局・他機関の取組への建設企業の参加を支援

### 他部局開催のイベント情報の入手

厚生労働省 令和6年度地域活性化雇用創造プロジェクト採択事業 地域企業就職促進交流事業

# オンライン2024 参加無料 合同企業説明会 参加企業募集

応募〆切  
2024年  
5月8日(水)  
正午



司会者が企業の採用担当者と一緒にZOOMを使って企業の魅力や採用情報などを発信するオンラインの合同企業説明会「みえる就活フェア2024」の参加企業を募集しています。オンラインは初心者、発信が不安という企業の方も、事務局がしっかりサポートしますので、安心してご応募ください。

- \*対象企業 県内に本社や事業所がある30社  
応募多数の場合は地域や業種バランスなどを考慮して事務局が選考します。
- \*参加求職者 三重県での就職を考えている  
概ね45歳未満の人


\*\*\*\*\*

\*開催(ライブ配信)予定日  
津会場 6月20日(木) 21日(金)  
24日(月) 25日(火)  
四日市会場 6月29日(土) 30日(日)

\*\*\*\*\*

\*日程ご希望を伺ったうえで事務局が調整します  
\*ライブ配信のため、会場にお越しいただく必要があります。  
\*参加無料  
\*専用ホームページを開設し、参加企業の業務や求人内容等をあらかじめ、公開します。

SCAN ME



事業のお問合せは 運営事務局  
東海ラジオ放送株式会社(名古屋市)事業部  
電話 052-962-6151(平日10:00-17:00)まで  
お申込みはこちらから  
<https://x.gd/mierushukatsu>

主催 公益財団法人三重県産業支援センター 三重県

### 建設産業活性化プランHP等にて周知



三重県建設産業  
活性化プラン  
2024

プランに基づく取組案内・結果

【取組案内】

「オンライン合同企業説明会の参加企業を募集しています。」 < CLICK! >

⇒募集HPへリンク

### 県内建設企業が多数参加

(令和5年度 0社 ⇒ 令和6年度 9社)

オンライン合同企業説明会「みえる就活フェア2024」参加企業リスト

6/19(水)	6/20(木)	6/21(金)	6/24(月)	6/25(火)	6/29(土)
18:30 社会福祉法人伊勢福祉会	19:00 株式会社 伊勢建設	9:30 社会福祉法人 東山福祉会	18:00 株式会社 伊勢建設	9:00 株式会社 伊勢建設	19:00 株式会社 ジェット
19:15 株式会社 かわらら建設	10:00 株式会社 エルティオ	10:00 クラウドエス 株式会社	10:00 エスエス株式会社	10:00 株式会社 伊勢建設	11:00 株式会社 フリー
19:30 社会福祉法人 三幸センター	10:30 株式会社 三幸建設	10:30 株式会社 三幸建設	11:30 株式会社 伊勢建設	10:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	11:00 株式会社 伊勢建設	11:00 株式会社 伊勢建設	12:00 株式会社 伊勢建設	10:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	12:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	12:00 株式会社 伊勢建設	12:00 株式会社 伊勢建設	13:00 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	12:30 株式会社 伊勢建設	12:30 株式会社 伊勢建設	13:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	13:00 株式会社 伊勢建設	13:00 株式会社 伊勢建設	14:00 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	13:30 株式会社 伊勢建設	13:30 株式会社 伊勢建設	14:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	14:00 株式会社 伊勢建設	14:00 株式会社 伊勢建設	15:00 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	14:30 株式会社 伊勢建設	14:30 株式会社 伊勢建設	15:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設
	15:00 株式会社 伊勢建設	15:00 株式会社 伊勢建設	16:00 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設	11:30 株式会社 伊勢建設

出典:「みえる就活フェア2024 HP(<https://mie-mirai.jp/>)

# 労働環境の改善の取組（令和5年度）

## 県発注工事の週休2日制の推進

(ロードマップ)

試行の概要		目標	
		工種	件数
H28	土日完全週休2日(発注者指定型)	。	。
R4	月2回土日完全週休2日(発注者指定型)	土木一式・舗装・予定価格2千万円以上・法面処理・予定価格3千万円以上	すべて。(現場閉所困難工事は除く)
	月2回土日完全週休2日(受注者希望型)	全工種	すべて。(現場閉所困難工事は除く)
R5	月2回土日完全週休2日(発注者指定型)	全工種	すべて。(現場閉所困難工事は除く)

段階的に拡大

- 業界と連携し目標を定め段階的に取組を拡大
- 全ての発注工事（閉所困難工事を除く）において4週8休を条件に発注
- 県土整備部発注工事のうち、96%が4週8休を達成

## 建設業界全体への取組促進

### 市町の取組促進



市内の19市町の幹部職員を訪問し、週休2日等の取組の推進を要請

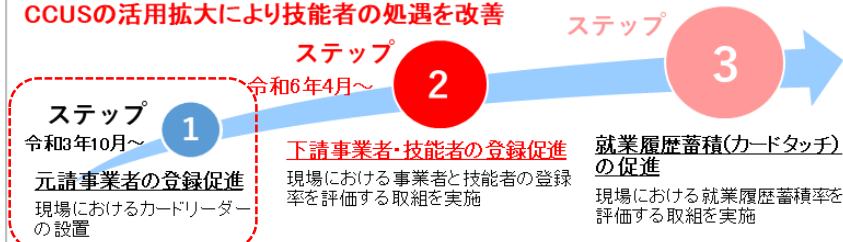
### 民間工事への取組促進



労働局と連携し、週休2日を含めた適正工期の確保等について、建築確認審査機関を通じて民間企業（発注者）に周知を依頼

## 建設キャリアアップシステム

モデル工事を段階的に実施し、CCUS活用を促進  
CCUSの活用拡大により技能者の処遇を改善



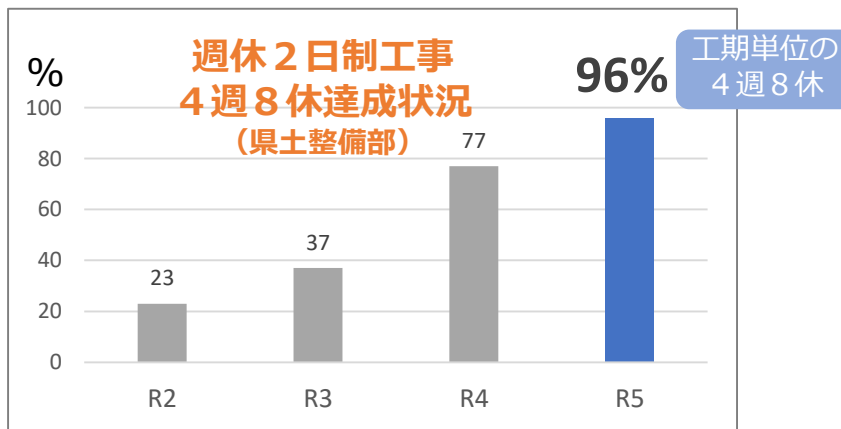
ステップ1（令和3年10月～令和6年3月）  
モデル工事による元請事業者の登録促進

- 元請事業者登録率（令和5年度末時点）
- 土木一式Aランク 96%
- 土木一式Bランク 80%
- 建築一式Aランク 76%

## <取組施策① 週休2日制の定着>

時間外上限規制、担い手確保に対応するため業界全体で週休2日を定着！

### 県発注工事の取組の深化



週休2日制工事（4週8休）達成率 = 4週8休を達成した工事件数/月2回土日完全週休2日制工事件数

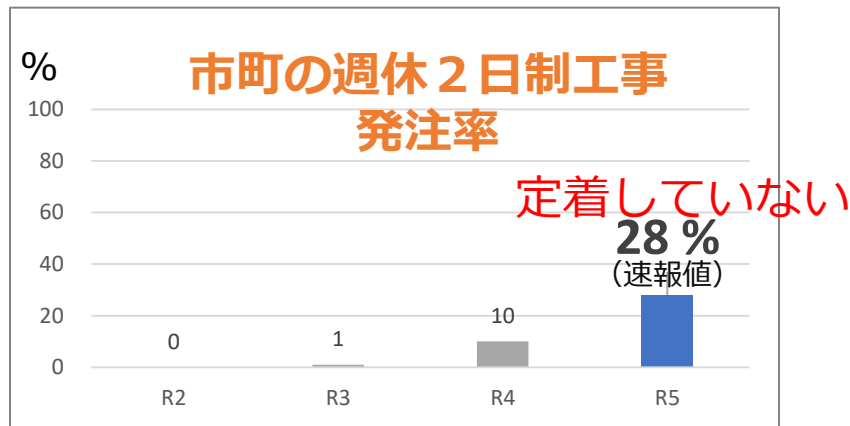
4週8休が定着  
次のステップへ

NEW

### <休日の質の向上>

- ・ 県土整備部の全ての工事を工期単位から月単位の4週8休へ（R6.7～）
- ・ 現場閉所困難工事において、交替制を導入（令和6年度中）

### 業界全体に取組を促進



市町の週休2日制工事発注率  
= 全市町の週休2日制設定工事件数/全市町の発注工事件数（現場閉所困難工事除く）

業界全体（市町・民間）  
の取組を促進



市町幹部への取組要請



労働局と連携した建築  
確認審査機関への周知

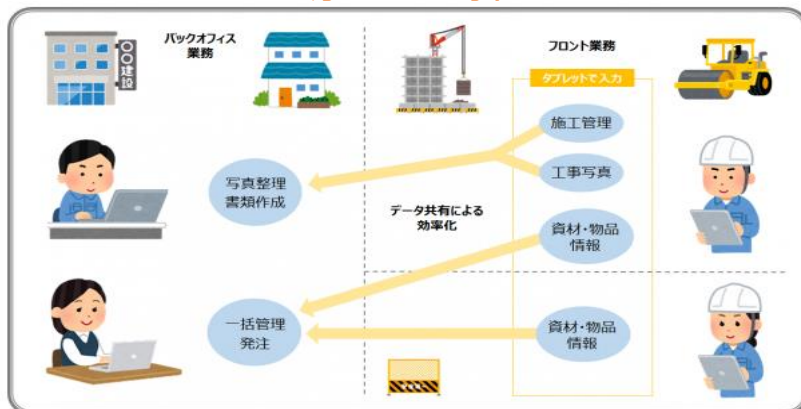
## <取組施策② 施工管理の分業化・効率化>

労働者の労働時間削減に寄与する取組を促進！

NEW

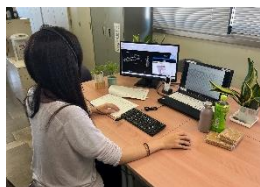
### バックオフィスの導入促進

新しい働き方としてバックオフィスの導入を後押し



(出典)：新潟県HP

- ・バックオフィス説明会の開催  
導入検討企業に向け概要・効果を説明
- ・バックオフィスの導入を支援  
導入企業に金銭的支援を実施



バックオフィス  
作業イメージ

- ◎バックオフィス
- ・技術者が現場で行っていた施工管理等の書類作成を、会社内の別の担当者が支援し作業を分業化
- ・現場技術者の負担を軽減し、作業の効率化と就労時間の短縮に効果的

### 遠隔臨場・ASPの推進

遠隔臨場・ASPを積極的に活用し労働時間の短縮を後押し

#### 遠隔臨場

遠隔地から Web 会議システム等を介して段階確認を実施



移動時間・待ち時間の削減

#### 情報共有システム(ASP)

公共工事の受注者、発注者がクラウドで書類提出等をやりとり



移動時間の削減

- ・市町発注工事の導入を支援



## <取組施策③ 安全で快適な労働環境の実現>

### 労働者が安全・快適に作業できる環境の整備



#### 施工現場の安全確保



ライブカメラや遠隔臨場により、安全管理を実施

- ・ 事故の未然防止には、作業の途中段階での安全パトロールが効果的
- ・ 事故の減少は建設業のイメージアップとなり、担い手確保にも繋がる



#### 柔軟な働き方の促進



リモートワーク

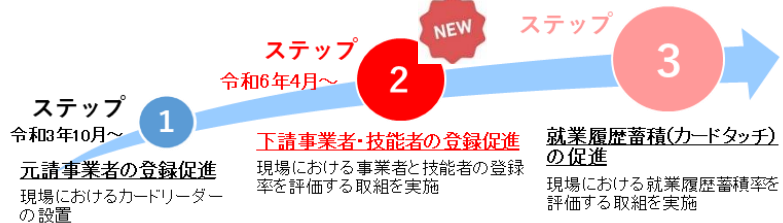
リモートワークやフレックスタイムなど柔軟な働き方を採用する企業を総合評価で評価することを検討

## <取組施策④ 人材育成・福利厚生>

### 企業が成長・発展するための人材育成

#### 技能者の処遇改善

モデル工事を段階的に実施し、CCUS活用を促進



CCUS（建設キャリアアップシステム）の活用拡大により技能者の処遇を改善



#### 福利厚生の充実

福利厚生が充実している企業を総合評価で評価

(評価項目) (R6.6～)

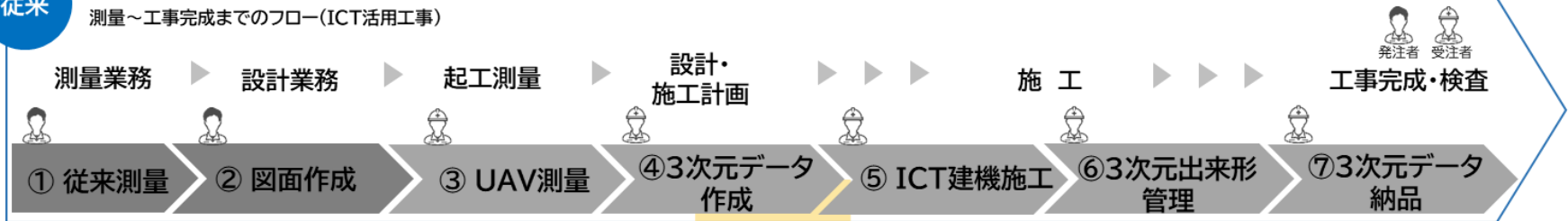
- ・ キャリアパスの策定
- ・ 従業員の資格取得の支援
- ・ ハラスメント研修の実施
- ・ 福利厚生の充実

# 生産性の向上 取組イメージ

建設現場の生産性向上・労働環境改善のために、**発注者**が取り組む建設DX推進のイメージ

従来

測量～工事完成までのフロー(ICT活用工事)



## 目指す姿に向けての取組内容

取組方針 生産性の向上

- ② 1 建設DX研修による人材育成
  - ・3次元データを活用できる人材を育成
- ② 2 ICT活用工事の推進
  - ・発注者による3次元測量データの作成・提供
- ② 3 BIM/CIM活用、支援
  - ・BIM/CIMの3次元設計データを提供

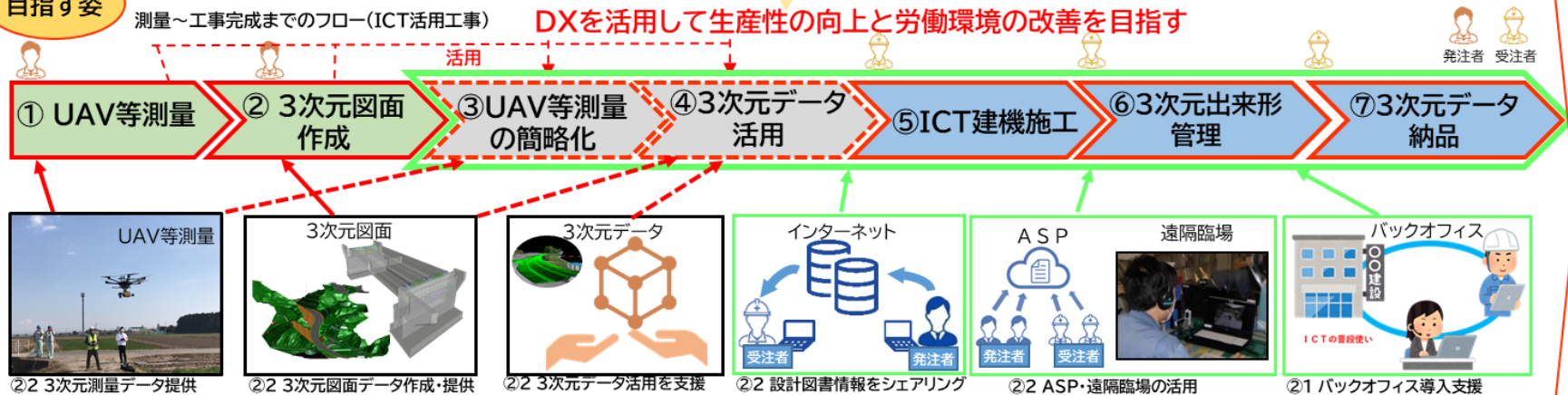
取組方針 労働環境の改善

- ② 1 施工管理の社内分業化への支援
  - ・バックオフィスの導入を支援
- ② 2 施工管理の効率化の支援
  - ・ASPや遠隔臨場の活用を推進
  - ・設計図書に関する情報をシェアリング

目指す姿

測量～工事完成までのフロー(ICT活用工事)

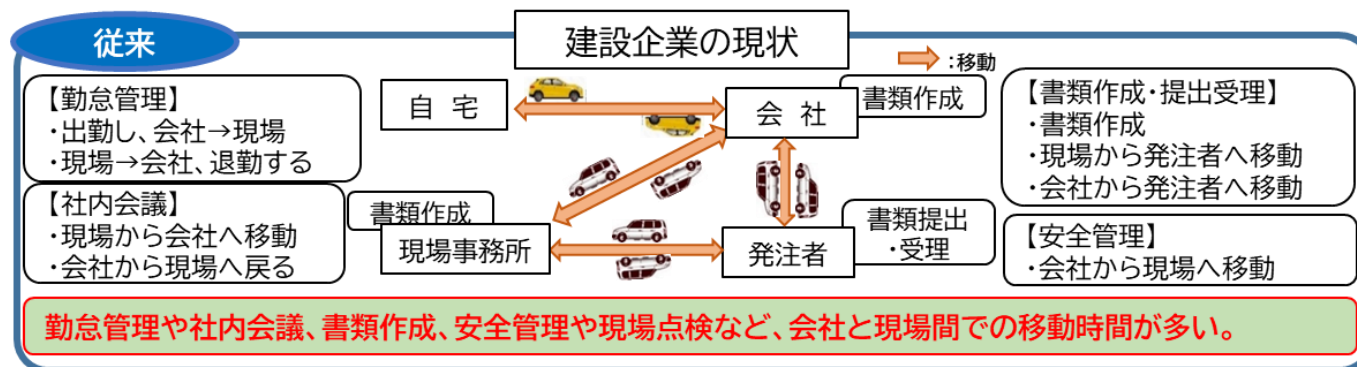
DXを活用して生産性の向上と労働環境の改善を目指す





# 生産性の向上 取組イメージ

建設現場の生産性向上・労働環境改善のために、**建設企業が取り組むDX推進のイメージ**



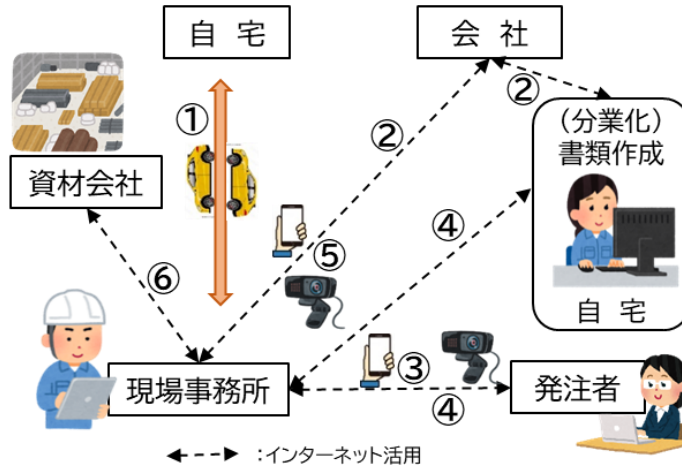
## 目指す姿

## DXを活用して生産性の向上と労働環境の改善

①【勤怠管理】  
Webシステムを使った勤怠管理  
→自宅から直行直帰が可能  
→作業時間の確保

②【社内会議】  
Web会議システムで会議に参加  
→現場事務所にて会議参加  
→現場と会社間の移動が不要

③【段階確認】  
遠隔臨場で現場立会が可能



④【書類作成】  
バックオフィス導入など分業化  
→現場から書類作成指示  
→現場作業後の書類作成が軽減  
→書類の提出受取をASPで実施

⑤【安全管理】  
ライブカメラや遠隔臨場の導入  
→会社から現場状況を常時確認可能  
→遠隔現場で現場点検や確認が可能  
→現場状況の社内情報共有が容易

⑥【資材購入】  
現場事務所から資材購入が可能

建設DXの活用により、これまで移動に要していた時間が削減できるとともに、分業化が可能となり生産性が向上することで、労働環境の改善につながる。

## <取組施策① 建設DXの導入 >

建設DXを知る機会を創出し建設現場の活用を促進！

### 建設企業向け 建設DX促進説明会



説明会参加募集ポスター（三重県）  
R5年度実績 130名参加

#### 開催内容（予定）

- ・情報共有システム（ASP）の活用について
- ・建設現場における遠隔臨場について
- ・ICT活用工事の取り組み状況について
- ・ICT活用工事のアンケート分析について
- ・意見交換
- ・ICT活用工事の事例紹介
- ・質疑応答
- ・バックオフィスの紹介

#### ・県内10会場で開催予定

対象：DX導入を検討している技術者  
CPDS：3ユニット付与

### NEW バックオフィス説明会

#### 開催内容（予定）

- ・バックオフィスの概要
- ・バックオフィスの効果
- ・導入企業の成功事例紹介

#### <取り組みの視点>

- ・バックオフィスは、複数現場のルーチン業務などを担えるため現場の負担軽減に有効
- ・建設業での新しい働き方として建設業のイメージアップにも効果的。
- ・企業規模に合わせ、バックオフィスが担う役割を設定し導入すると効果的



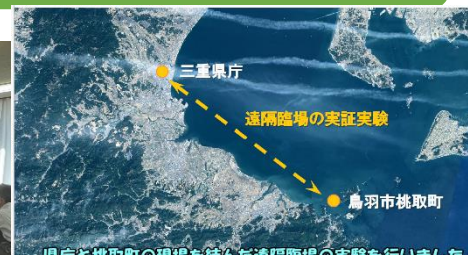
#### ・新規開催予定

対象：バックオフィスの導入を検討している経営者

### 市町への建設DX活用への理解拡大と支援



市町職員にASPと遠隔臨場について説明

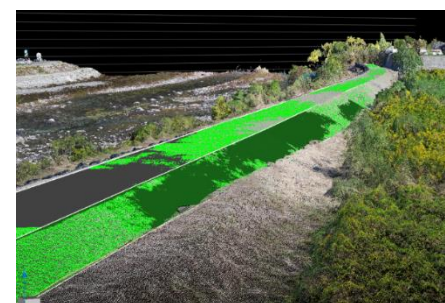


県庁と桃取町の現場を結んだ遠隔臨場の実験を行いました

離島でも遠隔臨場ができることを確認



ICT活用工事（ICT建機施工）



ICT活用工事（3次元設計データ）

- ・発注者協議会によるフォローアップ
- ・ICT活用工事等の要領策定を促進

## <取組施策② 建設DXの活用 >

自社でICT活用工事が完結でき、ASP、遠隔臨場も活用できるDX人材を育成！

NEW

### 建設企業向け 建設DX講習会

講習会内容

- ・ICT活用工事「3次元起工測量」
- ・ICT活用工事「3次元データ作成」
- ・遠隔臨場の操作研修
- ・ASPの操作研修



UAVによる起工測量研修



3D-CADソフトの操作研修



遠隔臨場の実践

【対象者】  
ICTスキルをアップ  
させたい技術者

【ランク別】  
受講者のスキル  
レベルに合わせ  
2種類開催

初中級 3回  
上級 2回 開催

【目標】  
・ICT活用工事を  
自社で完結できる  
・ASPや遠隔臨場が  
活用できる



DX人材を育成！

NEW

### BIM/CIMの活用支援

R3～試行

設計段階で作成された  
3次元モデルなどを活用



特定部(複雑な箇所、干渉等)の確認

R6～試行

施工計画の検討補助 現場作業員等への説明



2次元図面の理解補助

※BIM/CIM: 建設事業で取扱う情報をデジタル化することで、調査・測量・設計・施工・維持管理等の建設事業の各段階に携わる受発注者のデータ活用・共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化を図る

## <取組施策③ 建設DXの持続的な推進 >

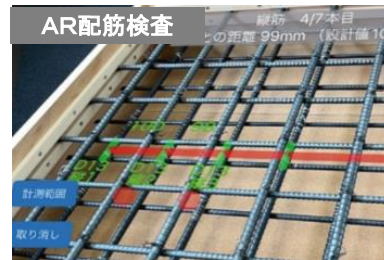
あらゆるDXにより生産性を向上！

NEW

### 新技術の活用



汎用モバイル機  
モバイル端末による出来形管理



AR配筋検査  
スキャナで鉄筋間隔を自動計測し画面表示



VR体験状況  
ゴーグルにより建設現場を疑似体験



# 2. 令和6年度取組

## 【3つの取組方針を支える企業の安定経営に向けた取組方針】

### 建設企業の適正な利潤を確保し、3つの取組方針に基づく取組の推進を下支え

NEW

#### 最低制限価格の見直し

令和5年度まで

(直接工事費 × 0.97 + 共通仮設費 × 0.97 +  
現場管理費 × 0.90 + 一般管理費等 × 0.75) × 1.1

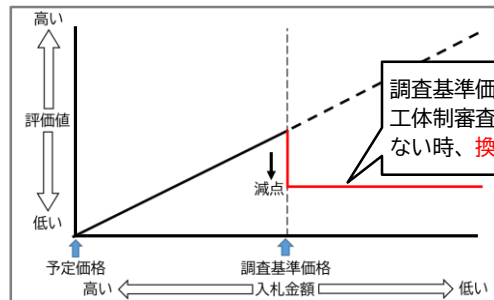
R6. 4. 1改正

(直接工事費 × 1.00 + 共通仮設費 × 1.00  
+ 現場管理費 × 0.90 + 一般管理費等 × 0.75) × 1.1

最低制限価格の底上げによる落札率の  
上昇により企業利益を下支え

NEW

#### 総合評価方式 評価値改正

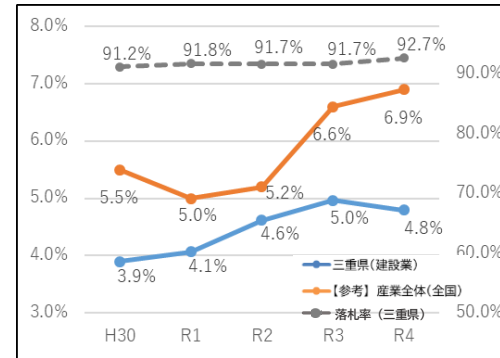


下請け企業、労働者、資材メーカーにダンピング受注の  
しわ寄せが及ぶことを防ぎ、適正な価格での受注を促す

各取組  
効果

#### 財務指標等の分析による動向把握

売上高経常利益率



落札率

三重県	92.7%	(33位)
愛知県	95.4%	(11位)
岐阜県	94.6%	(21位)
静岡県	95.2%	(12位)
全国平均	93.9%	

財務指標や落札率の変化を確認し、建設業界の経営状況を確認

プランの各取組の推進には  
企業の安定経営が不可欠

#### 企業の安定経営

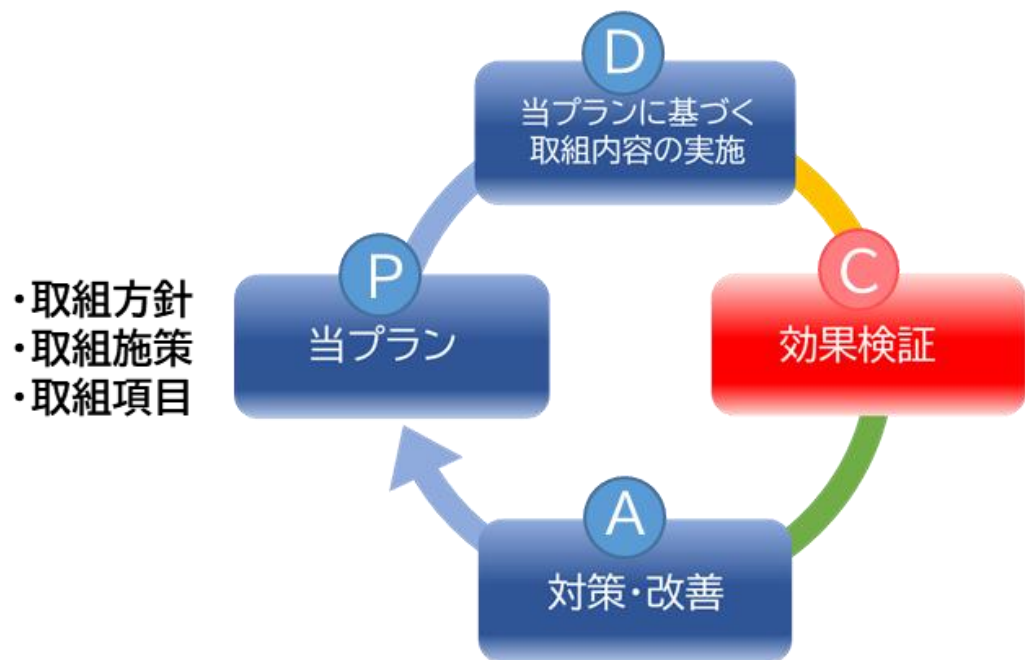
状況に応じて、建設企業が適正な利潤を確保できるよう、  
入札制度等の改善を実施



# 取組の効果検証

- 取組を効果的に進めるため、各取組の効果を検証するための会議を開催し、委員と意見交換を実施することで、対策・改善を行いながら取組を推進
- 統計資料やアンケート調査等により取組方針の進捗を代表する取組指標や各取組項目の達成状況を確認

## 取組の具体内容の実施



### 取組状況の確認

- 各種統計資料からの確認
- アンケート・ヒアリングによる確認  
(教諭・生徒・保護者(親)・企業・その他関係機関)

### 分析・効果検証

- ① 取組指標の達成状況の確認
- ② 各取組の有効性・的確性の検証
- ③ 関連性のある取組の相乗効果の検証

### 関係者との意見交換

#### 意見交換

(検討会議委員・建設業団体・教育機関等)